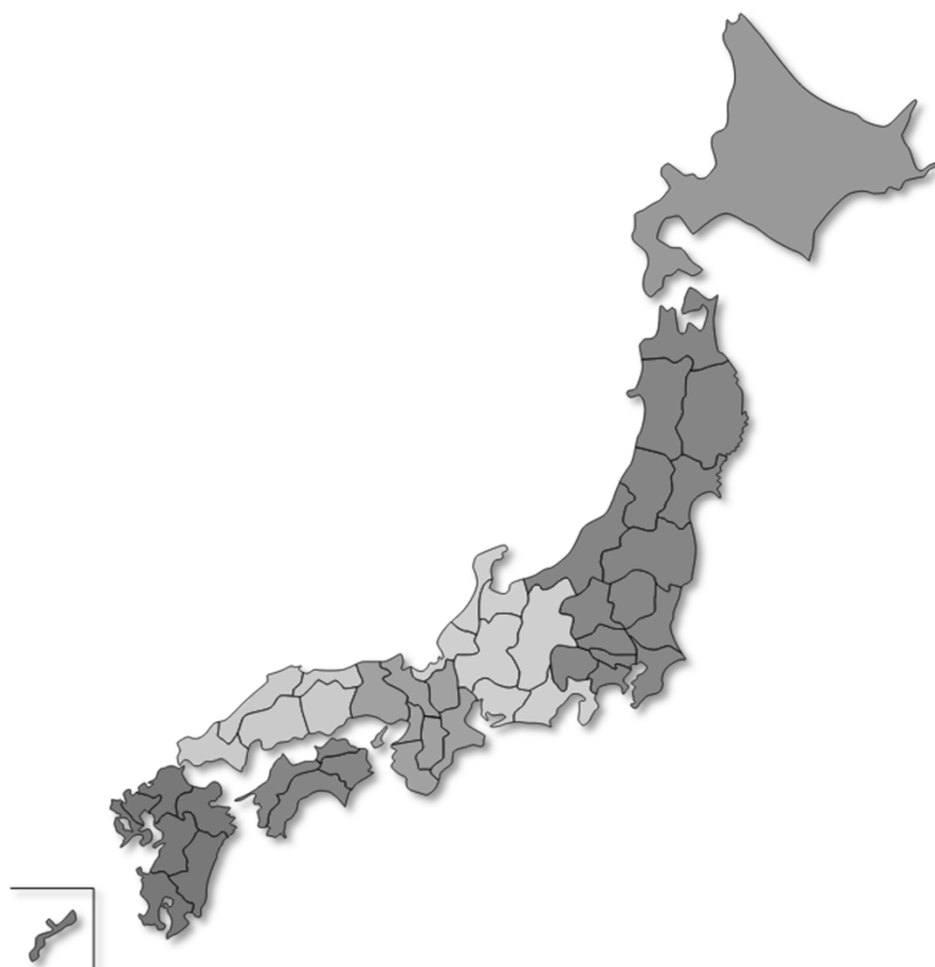


平成27年度版

全国の山村留学実態調査報告書



NPO法人 全国山村留学協会

【本調査の概要】

本調査は主に山村留学実施地域を対象としており、昭和51年度より継続して実施しているものです。尚、現在の対象となる地域は、平成12年度文部科学省委嘱事業「山村留学と国内ホームステイ等の実態についての調査研究」を元に、毎年更新して決定しています。

平成27年度のアンケート配布地域数及び有効回答数は以下の通りです。

小学校・・・配布数82校（有効回答数71校、無回答等11校）

中学校・・・配布数43校（有効回答数33校、無回答等10校）

※無回答等は本調査内容には含まれていません。

【本文中の表記について】

本文中では、山村留学の居住形態別に以下の分類及び表記を行っています。

里親方式・・・年間を通して主に里親宅で生活をする山村留学のこと

寮方式・・・年間を通して主に寮で生活をする山村留学のこと

併用方式・・・年間を通して、里親及び寮での生活を同数程度行う山村留学のこと

家族方式・・・留学生本人だけでなく家族等と移住する山村留学のこと

山村留学データバンク



平成27年度は前年度に比べて、小学校数が7減、中学校数が6減となりましたが、留学生数は9人減にとどまり、新規及び継続生を合わせて479人となりました。また、ここ数年の傾向として続いている、留学生を定期的に確保している地域と留学生が集まらない地域の二極化が、より顕著になってきています。

少子化の影響も多少あるとは考えられますが、全国の小中学生数(約1千万人 ※H27文部科学省調査)に比較すれば、山村留学生数は微々たるものであることから、今後も継続的に山村留学を運営して留学生を確保していくためには、各地

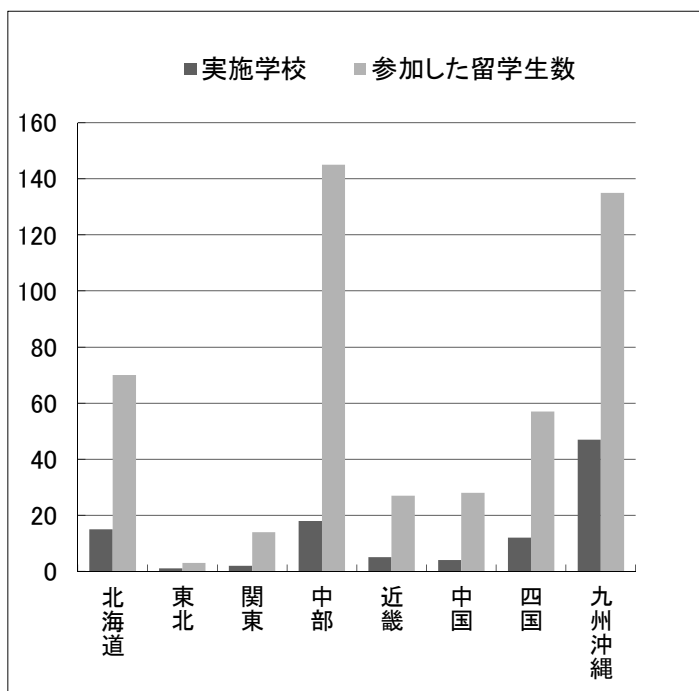
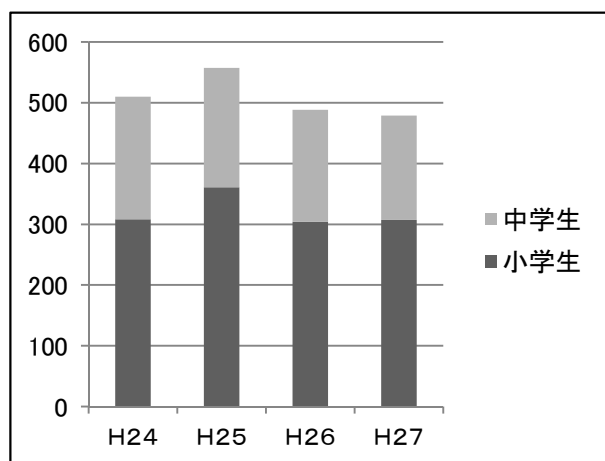
- 実施都道府県 20道府県 (留学生受け入れ20、受け入れなし0)
- 実施自治体 55市町村 (留学生受け入れ47、受け入れなし8)
- 小学校 71校 (留学生受け入れ55、受け入れなし16)
- 中学校 33校 (留学生受け入れ29、受け入れなし4)
- 小学生参加者 307人 (新規参加者184人、継続参加者123人)
- 中学生参加者 172人 (新規参加者71人、継続参加者101人)
- 参加者累計(昭和51年度～平成27年度延べ人数) 19,034人
- 山村留学体験者数(新規参加者のみの累計) 11,316人

▽地域別の山村留学実施校と受け入れ人数

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州沖縄	全体
実施学校	15	1	2	18	5	4	12	47	104
受け入れた学校	14	1	2	18	4	4	9	32	84
受け入れなかった学校	1	0	0	0	1	0	3	15	20
参加した留学生数	70	3	14	145	27	28	57	135	479
一校平均の受け入れ数	5.0	3.0	7.0	8.1	6.8	7.0	6.3	4.2	5.7

▽小中学生別参加者数の推移(H22～H25)

	H24	H25	H26	H27
小学生	308	361	304	307
中学生	202	196	184	172
合計	510	557	488	479



山村留学実施市町村及び学校名 NO.1

Aは親元を離れた山村留学生数(里親、寮、併用):Bは家族で転居した山村留学生数(家族):無記入は受け入れなし 単位(人)

北海道		A	B
雄武町	共栄小		4
北見市	瑞穂小		
	瑞穂中		4
清里町	緑町小		7
鹿追町	瓜幕小	2	1
	瓜幕中	8	1
東神楽町	志比内小		6
日高町	里平小	1	
美深町	仁宇布小		3
	仁宇布中	6	4
むかわ町	富内小		4
西興部村	上興部小		4
芽室町	上美生小		3
	上美生中	5	3
平取町	振内小		4
合 計		22	48

宮城県		A	B
丸森町	耕野小	3	
合 計		3	0

群馬県		A	B
上野村	上野小	8	
	上野中	6	
合 計		14	0

山梨県		A	B
早川町	早川南小		1
	早川北小		10
	早川中		6
合 計		0	17

新潟県		A	B
粟島浦村	粟島浦小	2	
	粟島浦中	8	
合 計		10	0

長野県		A	B
大町市	八坂小	8	
	八坂中	9	
	美麻小	4	
	美麻中	10	
長野市	大岡小	7	
	大岡中	7	
売木村	売木小	5	
	売木中	4	
泰阜村	泰阜小	10	
	泰阜中	8	
北相木村	北相木小	24	6
阿智村	浪合小	13	1
	阿智中	2	
合 計		111	7

三重県		A	B
いなべ市	立田小		11
合 計		0	11

京都府		A	B
南丹市	知井小	9	
合 計		9	0

和歌山県		A	B
紀の川市	鞆渕小		
	鞆渕中	1	
合 計		1	0

兵庫県		A	B
神河町	越知谷小	6	
合 計		6	0

山村留学実施市町村及び学校名 NO.2

Aは親元を離れた山村留学生数(里親、寮、併用):Bは家族で転居した山村留学生数(家族):無記入は受け入れなし 単位(人)

島根県			A	B
大田市	北三瓶小		1	
	北三瓶中		10	
合 計			11	0

山口県			A	B
岩国市	本郷小		12	
	本郷中		5	
合 計			17	0

愛媛県			A	B
砥部町	高市小		12	
合 計			12	0

徳島県			A	B
美波町	伊座利小			5
	由岐中伊座利分校		8	
合 計			0	13

高知県			A	B
大川村	大川小		2	
	大川中		11	
いの町	本川中		11	
那賀町	北川小		2	
馬路村	魚築瀬小			3
	魚築瀬中			3
安芸市	東川小			
室戸市	中川内小			
	中川内中			
合 計			26	6

福岡県			A	B
八女市	星野小		8	
宗像市	地島小		5	
合 計			13	0

佐賀県			A	B
佐賀市	北山東部小		3	
合 計			3	0

宮崎県			A	B
西都市	銀上小		3	
	銀鏡中		12	
合 計			15	0

鹿児島県			A	B
日置市	日新小			
曾於市	中谷小			
始良市	漆小			
湧水町	幸田小			
阿久根市	田代小		1	
薩摩川内市	鹿島小		2	1
徳之島町	手々小		2	
	手々中			
中種子町	岩岡小		5	
南種子町	荃南小		9	
	西野小		4	
	大川小		6	
	島間小		10	
	平山小		4	
	花峰小		6	
	長谷小		2	
屋久島町	永田小		7	4
	栗生小		4	6
	八幡小		2	
	金岳小		1	1
	金岳中			
天城町	西阿木名小三京分校			
伊佐市	南永小			

鹿児島県			A	B
三島村	三島小			
	三島中		2	
	竹島小		1	
	竹島中		3	
	大里小			
	大里中		4	
	片泊小			
	片泊中		2	
十島村	中之島小			
	中之島中			
	平島小			
	平島小諏訪之瀬島分校		1	
	平島中		2	
	平島中諏訪之瀬島分校		2	
	宝島小		1	
	宝島中		3	
合 計			86	12

沖縄県			A	B
南城市	久高小			
	久高中		2	
国頭村	安田小			4
合 計			2	4

居住形態別データ



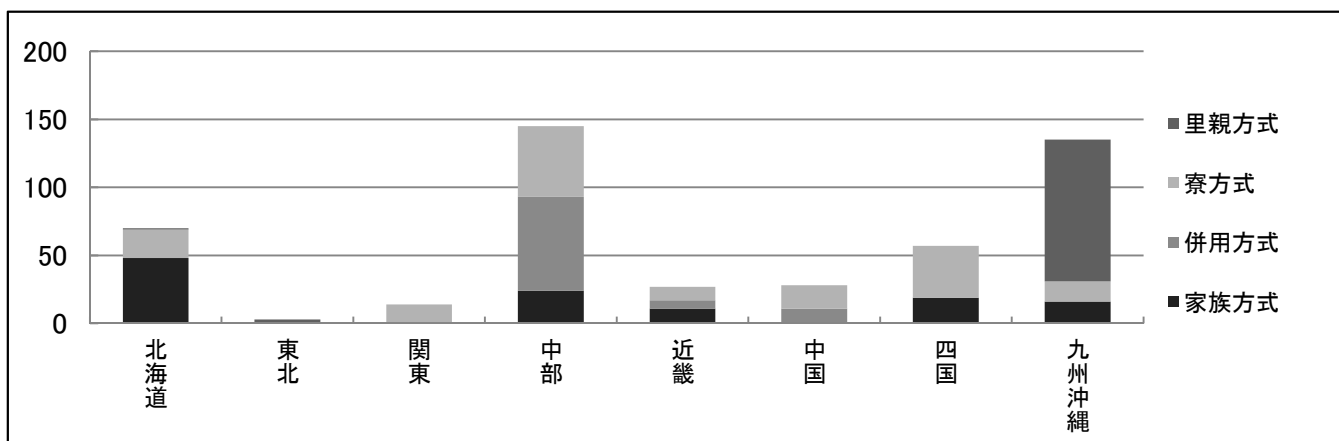
居住形態別の参加者数をみると、寮方式が167人と最も多く、次いで家族方式が118人、里親方式が108人となっています。

里親方式はそのほとんどが九州沖縄に集中しており(104人、約96%)、昨年よりも1%増加しています。また家族方式が多いのは北海道で48人となり、併用方式は中部が最も多く69人となっています。

寮方式も中部が52人と最多で、次いで四国38人、北海道21人となっています。

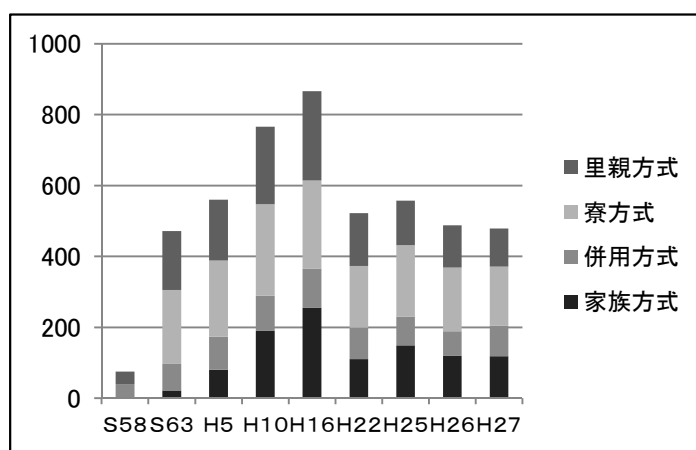
▽居住形態別の地域別参加者数

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州沖縄	全体
里親方式	1	3	0	0	0	0	0	104	108
寮方式	21	0	14	52	10	17	38	15	167
併用方式	0	0	0	69	6	11	0	0	86
家族方式	48	0	0	24	11	0	19	16	118
合計	70	3	14	145	27	28	57	135	479



▽居住形態別参加者数の推移(S58~H27)

	里親方式	寮方式	併用方式	家族方式
S58	35	0	40	0
S63	166	208	75	22
H5	172	215	93	80
H10	219	258	99	190
H16	252	248	110	256
H22	149	174	89	110
H25	125	202	81	149
H26	120	179	70	119
H27	108	167	86	118



平成26年度に比べると、併用方式のみが16人増加しており、他の方式は1~12人の減少となりました。また、地域別の参加者数をみると、中部が36人増なのに対し、九州沖縄は38人減となっており、長野県を中心とした中部地方への人気がかがえます。これは、関東近郊や中部圏、関西圏からのアクセスの良さと、比較的長期間留学制度を継続している受け入れ先が多いことによる体制の充実などが要因と考えられます。

学年別・男女別データ



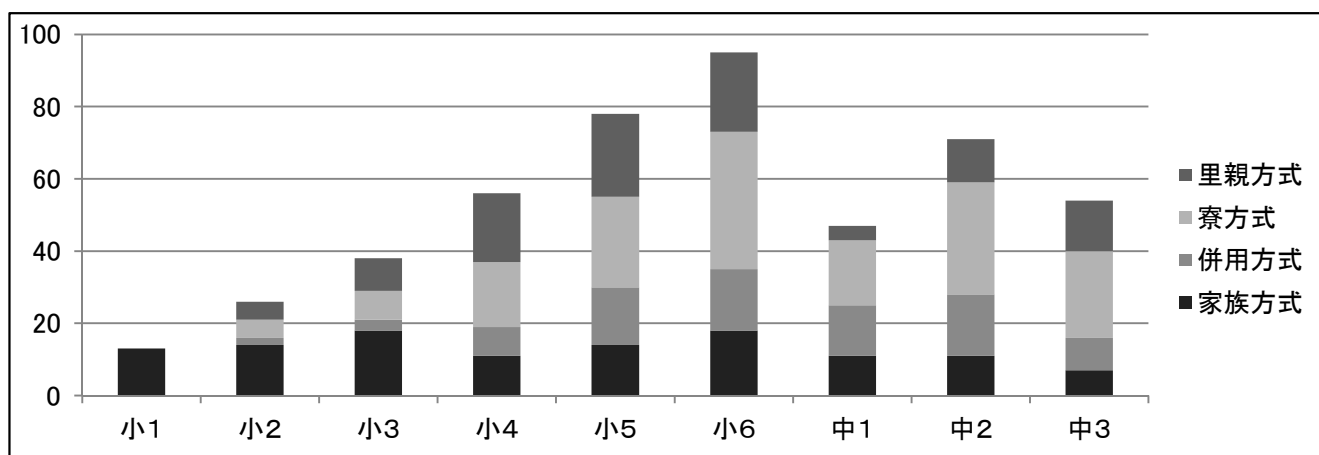
学年別では小6(95人)が最も多く、次いで小5(78人)、中2(71人)、小4(56人)となっています。

寮方式では全体の約32%が中学生となっており、併用方式でも小5～中2の間に全体の約74%の留学生が集中しています。また、家族方式は全学年に平均的に留学生がいるのが特徴です。

里親方式では、全体の約72%が小学生となっています。

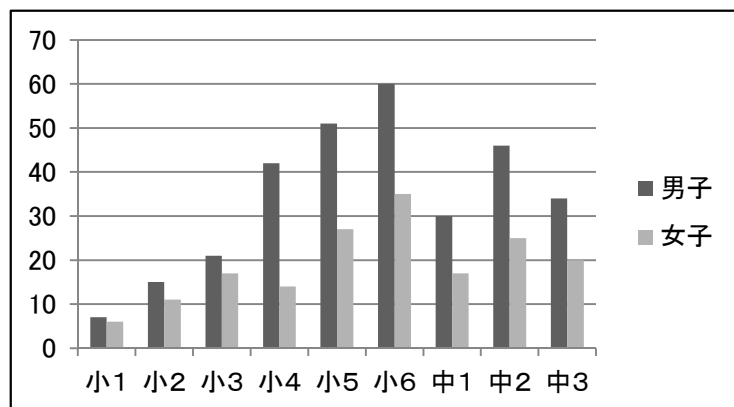
▽居住形態別の学年別参加者数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	不明	合計
里親方式	0	5	9	19	23	22	4	12	14		108
寮方式	0	5	8	18	25	38	18	31	24		167
併用方式	0	2	3	8	16	17	14	17	9		86
家族方式	13	14	18	11	14	18	11	11	7	1	118
合計	13	26	38	56	78	95	47	71	54	1	479



▽学年別の男女別参加者数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計	不明
男子	7	15	21	42	51	60	30	46	34	306	1
女子	6	11	17	14	27	35	17	25	20	172	
合計	13	26	38	56	78	95	47	71	54	478	479



全体では男子が306人(64.0%)、女子が172人(36.0%)となっており、前年度に比べて5%ほど女子が増加しています。

男子6割、女子4割の傾向は、ここ数年の傾向として変化はありません。

男女ともに留学生数のピークは小6となっていますが、小学生だけを見ると、男子は小1から徐々に増加し、女子は小5からの増加がみられます。小学生の場合は、女子は高学年からという傾向があるようです。

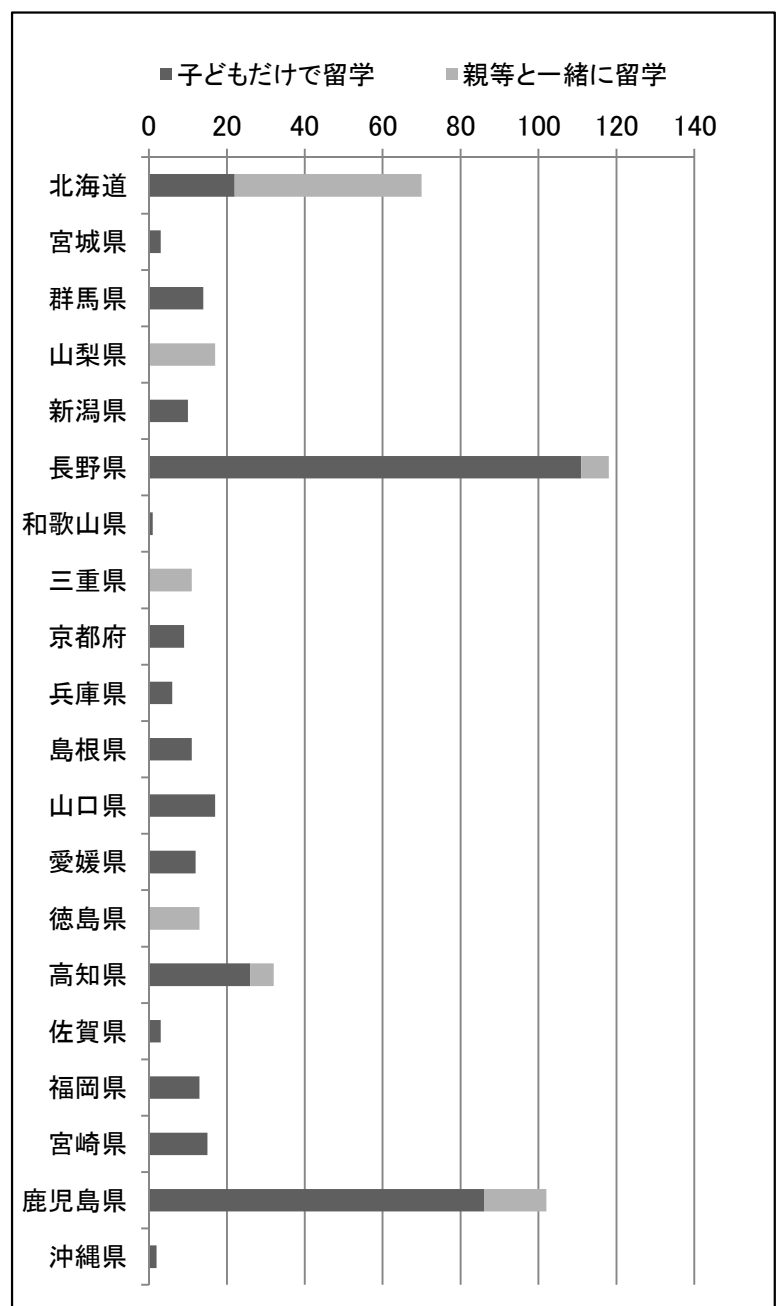
都道府県別の山村留学受け入れ人数

- 平成27年度の山村留学参加者数は479人で、うち子どもだけで留学した参加者数は361人(75.4%)、親等と一緒に留学した参加者数は118人(24.6%)です。
- 受け入れ人数が多い都道府県は、長野県(118人、23人増)、鹿児島県(102人、20人減)、北海道(70人、5人減)です。
- 子どもだけで留学した参加者数が多いのは、長野県(111人、16人増)、鹿児島県(86人、6人減)です。
- 親等と一緒に留学した参加者数が多いのは、北海道(48人、3人減)です。

※人数比較は前年度と比べた数字

▽都道府県別の留学生受け入れ人数

	子どもだけで留学	親等と一緒に留学	合計
北海道	22	48	70
宮城県	3	0	3
群馬県	14	0	14
山梨県	0	17	17
新潟県	10	0	10
長野県	111	7	118
和歌山県	1	0	1
三重県	0	11	11
京都府	9	0	9
兵庫県	6	0	6
島根県	11	0	11
山口県	17	0	17
愛媛県	12	0	12
徳島県	0	13	13
高知県	26	6	32
佐賀県	3	0	3
福岡県	13	0	13
宮崎県	15	0	15
鹿児島県	86	16	102
沖縄県	2	0	2
合計	361	118	479

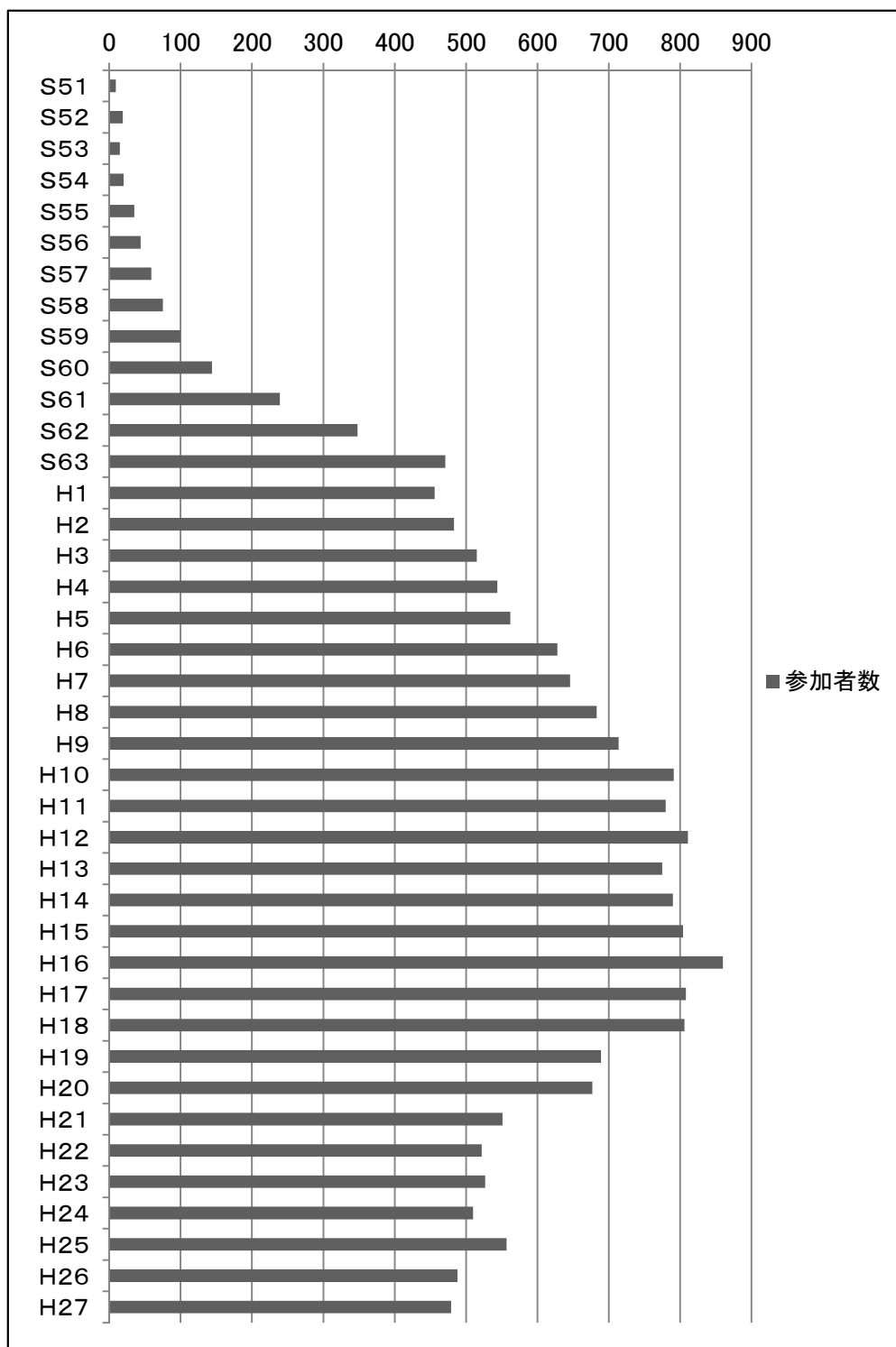


40年間の山村留学参加者数の推移

昭和51年度に長野県八坂村(現大町市)で日本初の山村留学が実施されて以後、40年間の参加者数の推移です。一時800人を超えた参加者数も、自治体合併や里親の高齢化、地元児童生徒数の減少、学校統廃合等により受け入れ学校も減少に転じ、現在では500人弱となっています。平成27年度も前年度に比べて微減となりました。これは、地域児童生徒の減少により山村留学制度を中止した学校が多くなったことに起因していると考えられ、山村留学制度と共に、移住政策等地域児童生徒の減少に歯止めをかける政策の重要性が浮き彫りになっています。

▽山村留学参加者数の推移

年度	参加者数
S51	9
S52	19
S53	15
S54	20
S55	35
S56	44
S57	59
S58	75
S59	100
S60	144
S61	239
S62	348
S63	471
H1	456
H2	483
H3	515
H4	544
H5	562
H6	628
H7	646
H8	683
H9	714
H10	791
H11	780
H12	811
H13	775
H14	790
H15	804
H16	860
H17	808
H18	806
H19	689
H20	677
H21	551
H22	522
H23	527
H24	510
H25	557
H26	488
H27	479



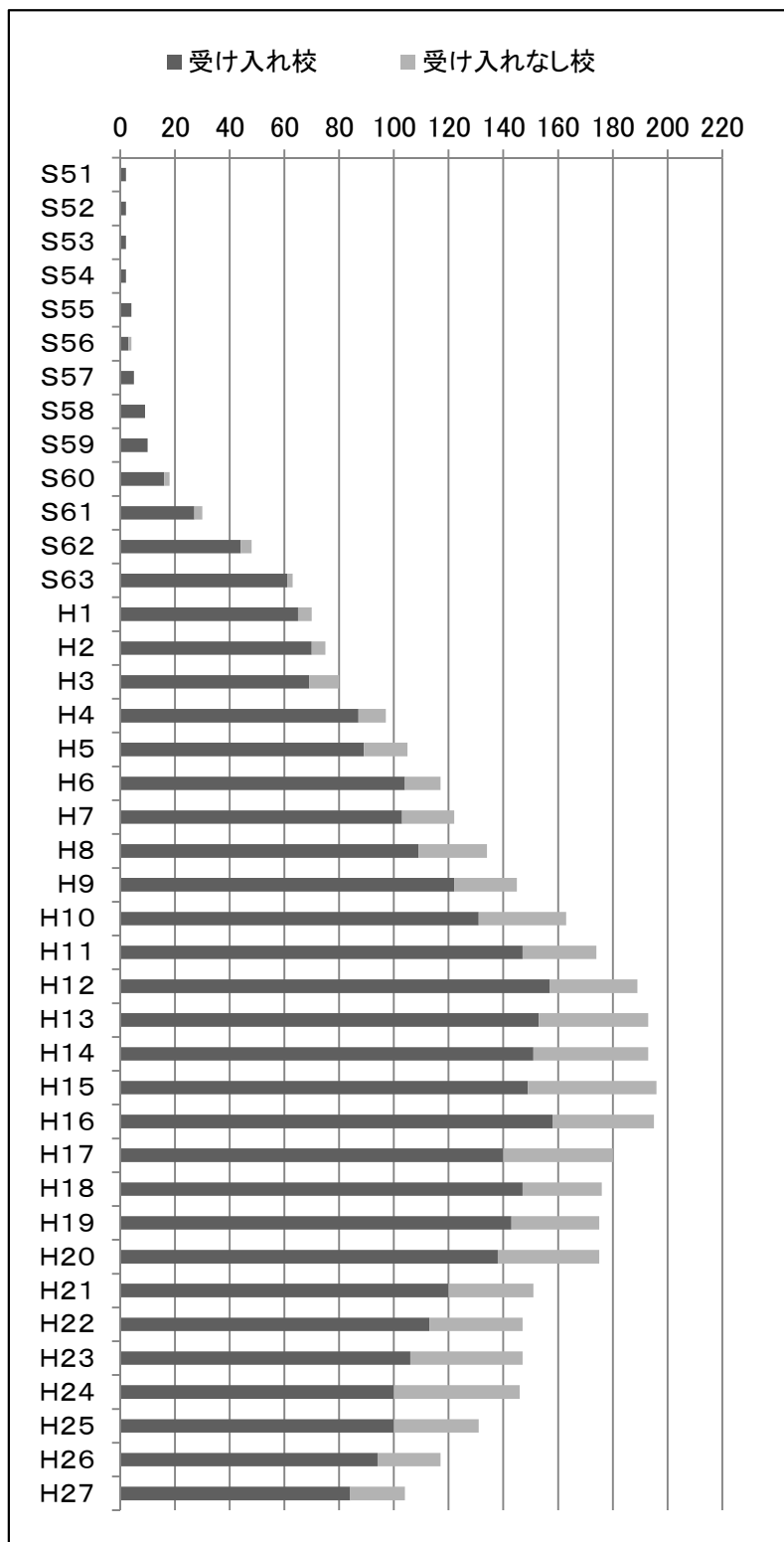
40年間の山村留学実施校の推移

山村留学実施校は昭和60年度頃から増加し、一時は200校弱で推移しています。山村留学を中止した学校は平成3年頃から目立ち始めましたが、開設した学校もあり大きな減少にはなっていません。

しかしながら平成17～21年度は、学校統廃合や自治体合併等の影響からか、中止する学校の方が多くなっており、平成27年度においても更に減少する結果となりました。

▽受け入れ校数と受け入れなし校数の推移

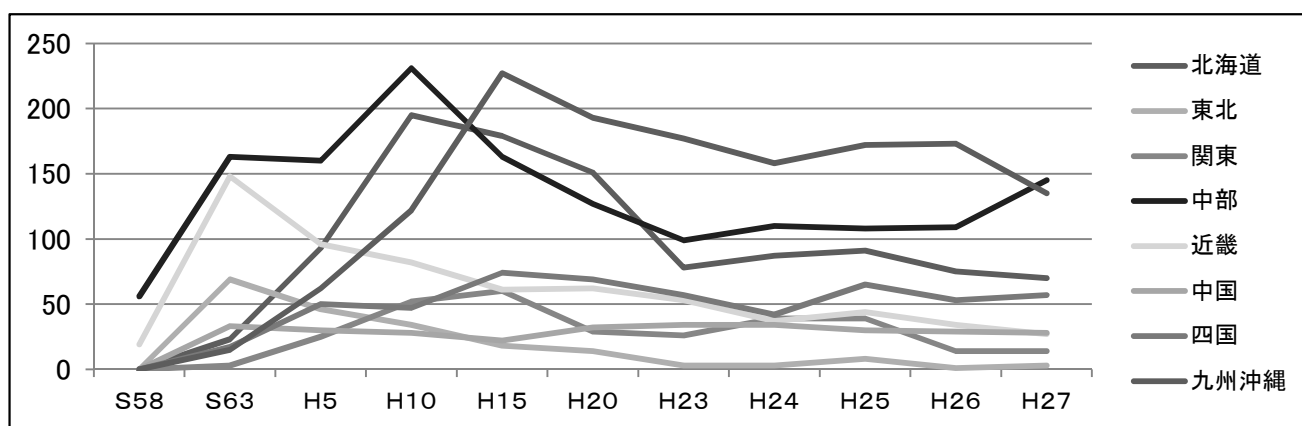
年度	受け入れ校	受け入れなし校	合計
S51	2	0	2
S52	2	0	2
S53	2	0	2
S54	2	0	2
S55	4	0	4
S56	3	1	4
S57	5	0	5
S58	9	0	9
S59	10	0	10
S60	16	2	18
S61	27	3	30
S62	44	4	48
S63	61	2	63
H1	65	5	70
H2	70	5	75
H3	69	11	80
H4	87	10	97
H5	89	16	105
H6	104	13	117
H7	103	19	122
H8	109	25	134
H9	122	23	145
H10	131	32	163
H11	147	27	174
H12	157	32	189
H13	153	40	193
H14	151	42	193
H15	149	47	196
H16	158	37	195
H17	140	40	180
H18	147	29	176
H19	143	32	175
H20	138	37	175
H21	120	31	151
H22	113	34	147
H23	106	41	147
H24	100	46	146
H25	100	31	131
H26	94	23	117
H27	84	20	104



40年間の参加者数の推移(受け入れ地域別・居住形態別)

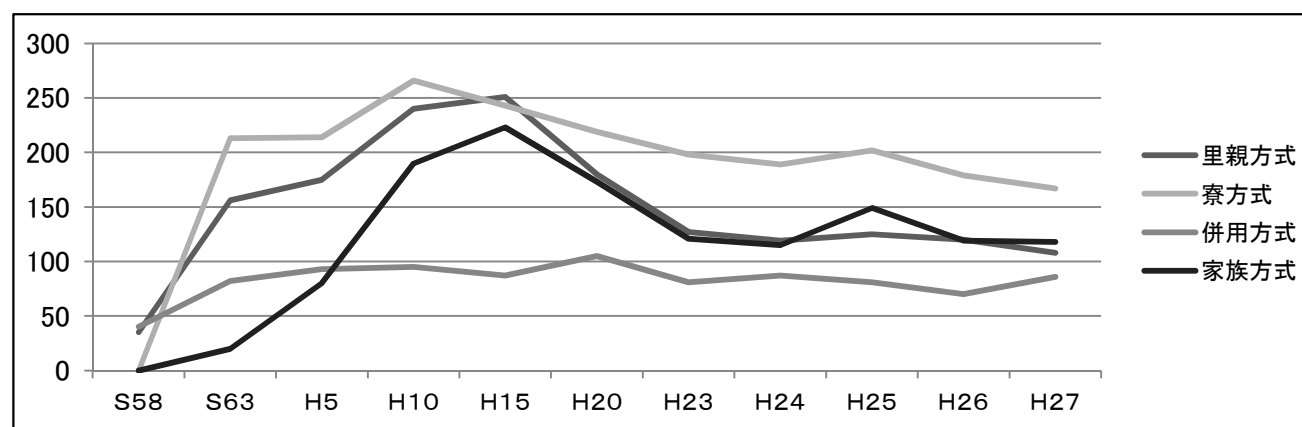
▽受け入れ地域別に見た参加者数の推移

	S58	S63	H5	H10	H15	H20	H23	H24	H25	H26	H27
北海道	0	23	93	195	179	151	78	87	91	75	70
東北	0	69	46	34	18	14	3	3	8	1	3
関東	0	3	25	52	60	29	26	39	39	14	14
中部	56	163	160	231	163	127	99	110	108	109	145
近畿	19	148	96	82	61	62	53	37	44	34	27
中国	0	33	30	28	22	32	34	34	30	29	28
四国	0	17	50	47	74	69	57	42	65	53	57
九州沖縄	0	15	62	122	227	193	177	158	172	173	135
合計	75	471	562	791	804	677	527	510	557	488	479



▽居住形態別に見た参加者数の推移

	S58	S63	H5	H10	H15	H20	H23	H24	H25	H26	H27
里親方式	35	156	175	240	251	180	127	119	125	120	108
寮方式	0	213	214	266	243	219	198	189	202	179	167
併用方式	40	82	93	95	87	105	81	87	81	70	86
家族方式	0	20	80	190	223	173	121	115	149	119	118
合計	75	471	562	791	804	677	527	510	557	488	479



平成27年度版 全国の山村留学実態調査報告書

平成28年11月

編集発行：NPO法人全国山村留学協会

〒180-0006

東京都武蔵野市中町1-6-7-5F tel:0422-56-0595 fax:0422-56-0351

info@sanryukyo.net

<http://www.sanryukyo.net>